

TOPICS

近江塩津駅（昭和32年10月1日開業）

駅舎と一体となった船宿風コミュニティハウス「海道・あちかまの宿」のなかにできた「お食事処 ちょっと一福」。駅周辺に商店や売店がないため、乗換客や乗降客に手作りで温かみのあるうどんやおにぎりのほか、地元で採れた野菜などを提供し、西浅井のPRに結びつけたいと平成20年5月にオープンしたお店です。



余呉駅（昭和32年10月1日開業）

ホームに立つと美しい余呉湖が目飛び込んでくる余呉駅は、平成18年の直営化にあわせて駅前ロータリーの整備と駅を中心としたタウンバスの運行を始めました。また、以前から要望のあった片岡西部地区や町役場、中之郷診療所といった公共施設への乗り入れも可能となり、多くのみなさんに喜ばれています。



木ノ本駅（明治15年3月10日開業）

駅構内にあるふれあいステーション「おかん」では、地元産の新鮮野菜やお米のほか、地酒やしょうゆなどの特産品を販売しており、駅と商店街を結ぶ交流の拠点となっています。また、ハイキングや町並みの散策など、おすすめスポットの観光情報も提供していますので、木之本町にお越しの際は、ぜひお立ち寄りを。



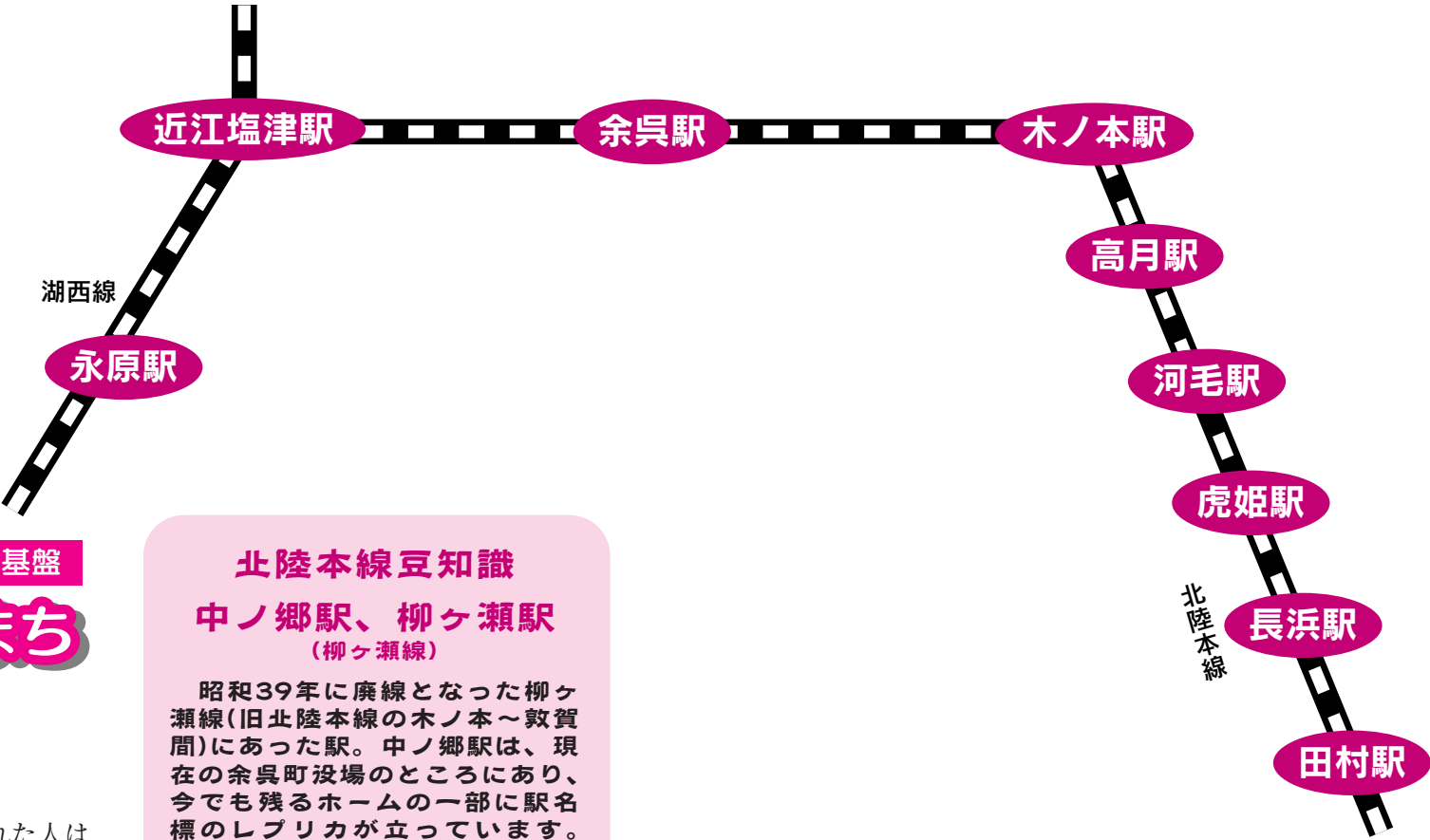
高月駅（明治15年3月10日開業）

駅の隣にある高月町総合案内所は、湖北地域の田園に囲まれた地域で息づく観光資源等を案内するところで、今では見られなくなった田園風景や今も湖北に残る風習や風俗を紹介しています。また、町内の集落に残された地域の財産である観音さまも、その案内所で観光客に紹介され、拝観したみなさんの心に安らぎを与えています。



永原駅（昭和49年7月20日開業）

JR湖西線の永原駅は西浅井町の西の玄関口。駅舎と一体となったコミュニティハウス「Koti（コティ）」は、西浅井町と交流があるフィンランドの言葉で「ふるさと」を意味します。ログハウス風の駅舎の2階には、地域の人々が描いた絵などを展示できるコミュニティルームがあります。



⑤都市基盤

止陸本線豆知識

中ノ郷駅、柳ヶ瀬駅
（柳ヶ瀬線）

昭和39年に廃線となった柳ヶ瀬線(旧北陸本線の木ノ本～敦賀間)にあった駅。中ノ郷駅は、現在の余呉町役場のところにあり、今でも残るホームの一部に駅名標のレプリカが立っています。柳ヶ瀬駅は現在の柳ヶ瀬バス停付近にあったが、現在、その面影を見ることはできません。また、柳ヶ瀬線の線路(路盤)は、廃線後国道となり、国鉄バスが走っていた。

新しい長浜市ってどんなまち

駅を活用したまちづくり

駅はよく「まちの顔」とも言われます。駅やそのまわりがにぎやかで活気にあふれていると訪れた人はワクワクし、そこに住む人は自然と笑顔があふれるものです。新長浜市は、明治時代、日本でいち早く鉄道が開通したところでもあり、当時は新聞が「世間の不景気を知らざるが如き光景」であったと報じているほど、まちはにぎわい、活気にあふれていたようです。そこで新長浜市では、当時の活気を取り戻すため、また、平成18年に実現した琵琶湖環状線の効果を最大限に活かすため、駅を活用したまちづくりを進めていこうと考えています。新長浜市は、大津市の16駅に次いで、2番目に多い9つの駅を持つこととなります。(JRの駅のみ)それぞれの駅が地域の顔として輝いていくためには、地域にあった整備と取組が必要となってきます。今回は、現在、そんな思いのもと、各地域で始まっている整備や取組の一部を紹介します。

河毛駅（昭和29年8月1日開業）

都市住民との交流を促進し、まちを元気にすることを目的に建てられた河毛駅コミュニティハウスは、観光情報などを発信する町の窓口としての役割を果たしています。また、東口広場では、駅の利用者以外の人も集える場として、毎週日曜午後3時から「小谷城城下町夕市」が開かれていますので、一度のぞいてみてください。



虎姫駅（明治35年6月1日開業）

駅前毎月1回開催されている「虎の市」は、地元商工業者と農家の人々が協力し、駅を中心とした商店街の活性化と、地産地消を目的として朝市のスタイルで開催されています。その市をきっかけに、地域の人と地元商工業者や農家のみなさんとのつながりが生まれ、駅を中心とした地域コミュニティが再生できればと期待しています。



田村駅（昭和6年10月14日開業）

昔は田んぼの中にぽつんとある駅でしたが、駅の東に長浜地方卸売市場と広い駐車場ができ、駅の西に滋賀県立長浜ドームや長浜バイオ大学、バイオインキュベーションセンターができたことから、その風景は大きく変わりました。また、改札口を西口にも設置し、利用者の利便性の向上に努めています。



長浜駅（明治15年3月10日開業）

5代目となる現在の駅舎は、エレベーターやエスカレーターなどバリアフリー機能に配慮した誰もが利用しやすい施設となっているのが特徴です。また、旧長浜駅舎を模したデザインの駅舎は、長浜鉄道文化館、北陸線電化記念館と一体をなす鉄道スクエアの一角を占め、鉄道のまち長浜を広くアピールできる施設になっています。

